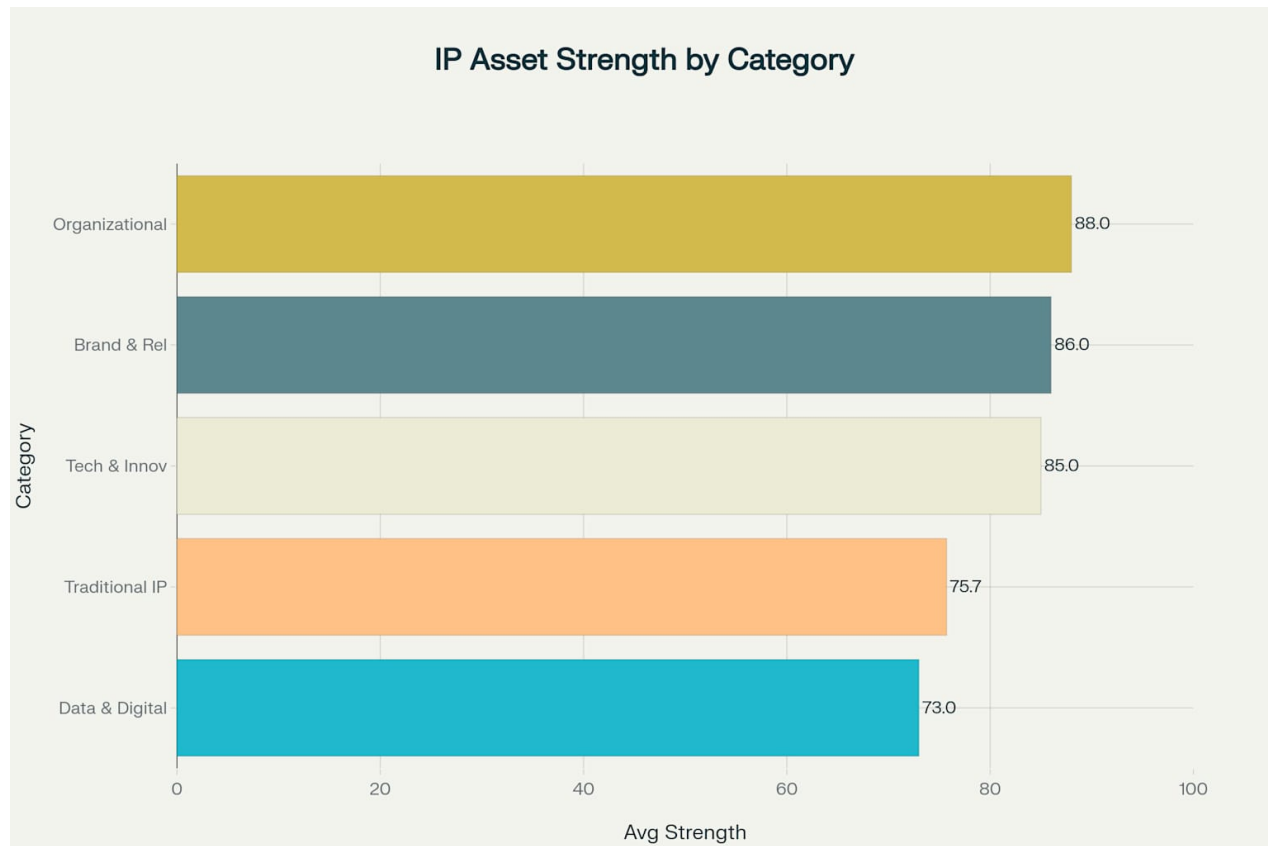


参天製薬の新中期経営計画（2025-2029年）が知財・無形資産戦略に与える影響分析

参天製薬株式会社は2025年5月21日、2025年度から2029年度までの5年間を対象とした新中期経営計画を発表しました^[1]。この計画は、眼科領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、グローバル市場でのさらなる成長を目指すものです^[2]。本レポートでは、この新戦略が同社の広範囲な知財・無形資産戦略にどのような変化をもたらすかを詳細に分析します。

現在の知財・無形資産戦略の評価

参天製薬の現在の知財・無形資産戦略は、5つの主要カテゴリーで構成されており、それぞれ異なる強度を示しています^[3]。



参天製薬の現在の知財・無形資産戦略の強度評価（カテゴリー別平均）

伝統的知的財産権（平均強度：75.7）

参天製薬は、医療用医薬品の研究開発活動から生まれた発明に基づく特許出願を積極的に行っています^[3]。有効成分を保護する物質特許や用途特許に加え、製剤、製法などの成果についても戦略的に特許出願・権利化を進めており、製品価値の最大化を図っています^[3]。特に眼科領域における豊富な特許ポートフォリオを構築していることが特徴です^[4]。

技術・イノベーション（平均強度：85.0）

同社の技術戦略の中核は、眼科における高い専門性と製剤改良技術です^[5]。特に保存料フリー製剤（PFMD：Preservative Free Multi-dose）技術や薬物送達システム（DDS）の開発に注力しており^[6]、これらの技術が競争優位性の源泉となっています^[5]。また、AI画像認識技術を活用した「瞳うるるスキャン」アプリの開発など、デジタル技術の統合も進めています^[7]。

ブランド・顧客関係（平均強度：86.0）

参天製薬は、日本の医療用眼科薬市場で50%以上のトップシェアを維持しており^[2]、眼科コミュニティとの強固な関係性を構築しています^[2]。「Santen Commercial Excellence」という独自の組織能力を通じて、各製品の売上を最大化する能力を有しています^[8]。

データ・デジタル資産（平均強度：73.0）

この領域は相対的に改善の余地が大きく、デジタルトランスフォーメーション（DX）認定を2024年に更新するなど^[9]、データ活用能力の強化に取り組んでいます^[9]。RPA（UiPath）の導入やAI技術の活用により、業務プロセスの改革を進めています^[10]。

組織能力（平均強度：88.0）

「Santen Commercial Excellence」を中核とした組織能力は同社の最大の強みです^[8]。眼科領域への特化により培われた専門性と、グローバル販売基盤が競合他社との差別化要因となっています^[8]。

新中期経営計画の戦略概要

6つの成長イニシアチブ

新中期経営計画では、持続的成長基盤確立に向けて6つのイニシアチブを推進します^[6]：

1. 海外地域でのリーダーポジション確立：EMEA、アジア、中国における市場成長率を上回る収益拡大^[6]
2. 近視・眼瞼下垂疾患の市場創造：新規治療領域でのRx市場創出^[6]
3. Rxポートフォリオ・パイプラインの強化：2030年度以降の持続的成長に向けた製品拡充^[6]
4. 安定供給・サプライチェーンの整備：新製品需要増加に対応した生産体制強化^[6]
5. コストの持続的適正化：原価最適化とSG&A効率化^[6]
6. 人材・組織とデジタル・ITの強化：デジタル活用推進と組織能力向上^[6]

財務目標

2029年度には売上収益4,000億円、コア営業利益800億円、ROE14%以上を目指しています^[6]。海外事業売上比率は58%まで拡大する計画です^[6]。

知財・無形資産戦略への影響分析

デジタル・AI技術の戦略的重要性向上

新中期経営計画では、「人材・組織とデジタル・ITの強化」が重点項目として明確に位置づけられています^[6]。これにより、AI技術やデータアナリティクス関連の知的財産権の重要性が大幅に高まると予想されます^[9]。特に、製薬業界全体でAI創薬や個別化医療への関心が高まる中^[11]、参天製薬も関連技術の特許戦略を強化する必要があります。

新市場創造に伴う特許戦略の拡大

近視進行抑制治療と眼瞼下垂治療という新規領域への参入は、これまでとは異なる特許ランドスケープを意味します^[6]。これらの領域では、治療方法特許、診断技術特許、さらには患者教育やコンプライアンス向上に関する技術的解決手段の特許化が重要になります^[6]。

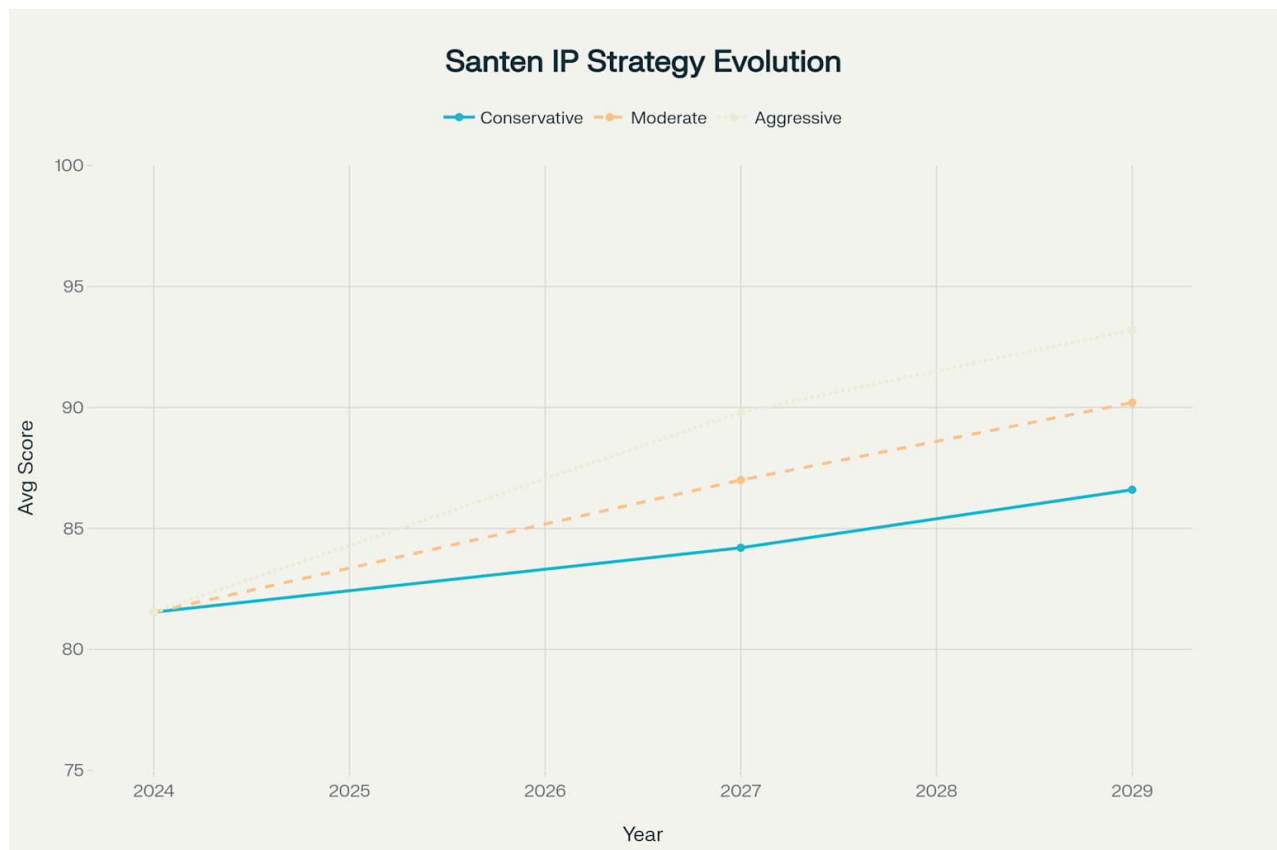
グローバル展開の加速と知財戦略の高度化

海外事業売上比率58%という目標達成には、各地域での知的財産権の戦略的確保が不可欠です^[6]。特に中国やアジア地域での事業拡大に際しては、現地の知財法制度への対応や、模倣品対策の強化が必要になります^[3]。

パートナーシップ戦略と知財管理の複雑化

新中期経営計画では、事業開発（BD）を通じたパイプライン拡充が重視されています^[6]。これに伴い、共同開発プロジェクトやライセンス契約における知的財産権の管理がより複雑化し、戦略的重要性が増すと考えられます^[12]。

シナリオ分析：2029年に向けた知財・無形資産戦略の進化



参天製薬の知財・無形資産戦略の進化シナリオ（2024-2029年）

保守的シナリオ（総合スコア：86.6）

このシナリオでは、現在の知財戦略を基盤として、段階的な改善を図ります

。デジタル・AI分野への投資は限定的で、主に既存の眼科領域での特許ポートフォリオ強化に注力します。リスクは低いものの、変化の激しい市場環境への対応が遅れる可能性があります。

中庸シナリオ（総合スコア：90.2）

バランスの取れた投資配分により、全ての領域で着実な改善を実現するシナリオです。新技術領域への投資と既存強みの維持を両立させ、リスクと成長のバランスを取ります。最も実現可能性の高いシナリオと考えられます。

積極的シナリオ（総合スコア：93.2）

デジタル変革を中核とした積極的な知財戦略により、業界をリードするポジションを目指すシナリオです。AI、データサイエンス、デジタルヘルス領域への大幅な投資により、新たな競争優位性を構築します。高いリターンが期待される一方、投資リスクも大きくなります。

重要成功要因と戦略的推奨事項

新市場創造戦略の確実な実行

近視・眼瞼下垂市場での成功は、参天製薬の将来にとって極めて重要です^[6]。これらの領域では、治療効果の可視化技術、患者教育プラットフォーム、医師向け診断支援システムなど、従来の製薬企業の枠を超えた幅広い知的財産の創出が必要になります。

デジタルトランスフォーメーションの加速

AI画像認識技術の「瞳うるるスキャン」アプリの成功事例^[7]を基盤として、より広範囲なデジタルヘルス技術の開発と特許化を進める必要があります。特に、リアルワールドデータの活用やAIによる診断支援技術は、今後の競争優位性の源泉となる可能性があります。

オープンイノベーション戦略の強化

VISI-ONEアクセラレータープログラム^[13]のような取り組みを拡大し、外部の革新的技術との融合を図る必要があります。これにより、社内では創出困難な新しい知的財産を獲得し、既存技術との組み合わせによる相乗効果を創出できます。

ESG経営との統合

サステナビリティへの取り組み強化^[6]は、ESG投資の観点からも重要です。環境負荷低減技術、アクセス向上のための技術革新、多様性促進のためのソリューションなど、社会的価値と経済的価値を両立する知的財産の創出が求められます。

結論

参天製薬の新中期経営計画は、同社の知財・無形資産戦略に根本的な変革をもたらす可能性を秘めています。特に、新市場創造とデジタル変革を通じて、従来の製薬企業の枠を超えた広範囲な無形資産の創出が期待されます^[6]。

成功の鍵は、既存の強み（眼科専門性、Santen Commercial Excellence）を維持しながら、新技術領域への戦略的投資を実行することです^[8]。中庸シナリオを基本として、市場環境の変化に応じて積極的シナリオへの移行を検討することが、最適な戦略アプローチと考えられます。

2029年度の目標達成に向けては、知財・無形資産戦略を経営戦略の中核に位置づけ、全社的な取り組みとして推進することが不可欠です。これにより、参天製薬は眼科領域のグローバルリーダーとしての地位をさらに強固なものとし、持続的な成長を実現できると予想されます。



1. https://www.santen.com/ja/news/2025/2025_1/20250521_2

2. <https://www.santen.com/ja/business/vision>

3. <https://www.santen.com/ja/sustainability/social/property>

4. http://www.jipa.or.jp/kaiin/kikansi/honbun/2020_07_1034.pdf

5. <https://www.santen.com/ja/business/rd/innovation>

6. https://www.santen.com/content/dam/santen/global/pdf/ja/business/vision/FY2025-2029_plan_ja.pdf

7. https://aismiley.co.jp/ai_news/image-ai-confirm-eye-moisture/

8. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000086.000074428.html>
9. <https://www.santen.com/en/about/dx>
10. https://www.tis.jp/casestudy/casestudy_115.html
11. <https://www.tokkyoteki.com/2025/03/intellectual-property-strategic-program-2025-public-comments.html>
12. <https://www.santen.com/ja/business/partnership>
13. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000050.000074428.html>